

この国のデジタル化はどこへ行くのか？

2021.10.11 武藤

- 第1 デジタル社会の現状（情報収集機器・保存媒体の発達、増加）
インターネット上の行動、位置情報を蓄積、利用するビジネス
「人が動くと、情報が生産される」「情報は金になる」
ターゲティング広告、GPS、音声認識
- 第2 デジタル化が必要として、デジタル庁は必要か？
中心となるものは、マイナンバーカードの拡大？その必要性、相当性は？
これまでのデジタル化政策は？
住基ネットは一体何だったのか。
自治体情報・住民業務の中央集権化
自治体におけるプライバシー保護水準の切り下げ（全国が「個人情報法」レベルに）
「利活用」ありきの「プライバシー」軽視
- 第3 顔認証のこれまでとこれから
- 1 しくみ
 - 2 利用されている例
 - 3 精度の発展と実用化
 - 4 保険証連動のマイナンバーカード（スマホアプリへ？）による完成
- 第4 どのような規制が必要か（EUはどう対応しているか）
- 1 法規制：GDPR
生体情報の収集を原則禁止
プロファイリング規制
削除権（忘れられる権利）
 - 2 個人情報保護法の改正で個人情報は保護されるか。
 - 3 個人情報保護委員会は、個人情報保護の役割に徹しているといえるか。
 - 4 情報の安全保障